

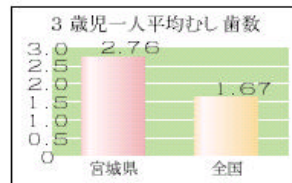
重点項目 7 8020運動の推進

- 1 スローガン ●50歳で25本以上の歯を持つことを心掛けよう
●80歳で20本以上の歯を保つよう努力しよう

2 現 状

3歳児のむし歯数が多い

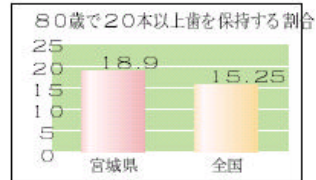
3歳児の一人平均むし歯数は、全国平均（1.67本）と比べると1本以上多いという結果となっています。



I-111 3歳児歯科健康診査

80歳で20本以上の歯を保持する方は、2割未満

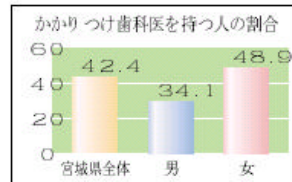
80歳で20本以上自分の歯を保持する人は、全国平均（15.25%）と比べると多い（18.9%）という結果となっています。



県：I-112 県民健康栄養調査※
国：I-111 歯科疾患実態調査
※75～84歳を対象にしたものではない
「ほとんどある」だけではないの合計値

かかりつけ歯科医を持つ人は4割

かかりつけ歯科医を持っている人は、女性が48.9%に対し男性は34.1%という結果となっています。



I-112 県民健康栄養調査

3 目 標 値

項 目	現状（2000年）	目標（2010年）
3歳児の一人平均むし歯数	2.76本	1本以下
80歳で20本以上歯を保持する割合	18.9%	20%以上
かかりつけ歯科医を持つ割合	42%	70%以上

4 具体的施策

項目	推進主体	推進内容	対象
みやぎ8020 プランの推進	県 市町村 歯科医師会	平成17年（西暦2005年）までの歯科保健の目標 目標1 3歳児一人平均むし歯数を2本以下にし、 むし歯有病者率を40%以下にする 目標2 12歳児の一人平均むし歯数を3本以下にする 目標3 50歳の一人平均喪失歯数を3本以下にする 目標4 65歳からの無歯顎者（口腔内に歯が1本も ない者）の率を20%以下にする	県民 保育所 幼稚園 学校 事業所 施設
かかりつけ歯科医 の推進	歯科医師会 家庭	・地域における、かかりつけ歯科医体制の整備 PMT C（機械的歯面清掃によるむし歯、歯周病 の予防治療）の推進及びフッ化物の応用 ・定期的な歯科健診の受診	歯科医療機関 県民
歯科保健普及啓発 活動	県 市町村 歯科医師会	・県並びに市町村の広報媒体を活用した歯と口の健 康づくり普及啓発 ・ホームページ等を活用した歯と口の健康づくり情 報の提供	県民
適切な歯科サービ スの提供	県 市町村 歯科医師会 学校 事業所	・「歯の学校」「歯の大学」等の実施 ・フッ化物の応用による歯科保健事業の実施 ・むし歯等の地域格差是正のための指導 ・学校歯科保健活動の充実 ・事業所歯科健診の充実 ・40歳・50歳節目歯科健診の充実の指導 ・8020サポーターの育成	県民 妊産婦 乳幼児 小中高生
要介護者、障害者 （児）の歯と口の 健康づくりの推進	県 市町村 歯科医師会 施設 家庭	・サービスセンター、老人福祉施設、老人保健 施設等での巡回歯科保健事業の充実 ・要介護者、障害者（児）への訪問歯科保健事業の 充実 ・施設関係者への研修	施設入所者 施設通所者 在宅要介護者
地域歯科保健推進 体制の整備	県 市町村 歯科医師会	・歯科保健モデル施設である、宮城・仙台口腔保健 センターを活用した事業の推進 ・二次医療圏等広域歯科保健推進体制の整備促進 ・歯科保健情報の収集、管理、提供体制の整備	県民 関係機関

